

〔釈文〕

かわりけん

「さて八けんのん信州地震開帳
人ゆり身ゆりくく内ハぶらく

ゆるいでまゑりやしよ、じゃんくくじ

やけんの善光寺はさまにじさ

まがつぶされた、かはくくわ

ゑて土手つくてん、さあきづ

加ゑたまえりまひやう

爰に弘化四年三月二十四日夜四ツ時

比より信州大地震にて善光寺をはじめ

川中島辺より丹波島渡し同く小市の

川むかふなる山々川中へゆりくづれ、川水をせき

とめ人家へ溢れ出し、田畑の損じ少なからず善光寺御堂

のみ破却ニ及ず、扱越後路の方ハ柏原関川越後高田

辺又上州口之方ハ追分沓掛輕井沢小諸飯山辺殊ニ

はけしく、南ハ会田辺より松下代上田近辺ハ筑摩

川を押埋洪水一時にをし出し、人馬の泣きさげぶ声目も当ら

れぬばかりなり、扱翌六ツ時頃漸く治り人々安堵しけると

なり

貞重改

国輝画